

保健医学講座

Welfare Promotion and Epidemiology

教授 (前)	鏡森 定信	Sadanobu Kagamimori
准教授	関根 道和	Michikazu Sekine
助 教	濱田 仁	Jin Hamada
助 教	立瀬 剛志	Takashi Tatsuse

◆ 原 著

- 1) Lalluka T., Lahelma E., Rahkonen O., Roos E., Laaksonen E., Martikainen P., Head J., Brunner E., Mosdol A., Marmot M., Sekine M., Nasermoaddeli A., Kagamimori S.: Associations of job strain and working overtime with adverse health behaviors and obesity: evidence from the Whitehall II study, Helsinki Health Survey, and the Japanese civil servants study. *Soc. Sci. Med.*, 66: 681-1698, 2008.
- 2) Wang H, Sekine M, Chen X, Yamagami T, Kagamimori S.: Lifestyle at 3 years of age and quality of life (QOL) in first-year junior high school students in Japan: results of the Toyama Birth Cohort Study. *Quality of Life Research*, 17: 257-265, 2008.
- 3) 松井利夫, 鏡森定信: 家庭風呂での転倒転落事故と心身および社会的健康との関連. *北陸公衆衛生学会誌*, 34: 80-86, 2008.

◆ 総 説

- 1) 関根道和, 立瀬剛志, 鏡森定信: 日本・英国・フィンランドの公務員における社会経済的状态と健康: 心理社会的ストレスと健康リスク行動の役割. *厚生の指標*, 55: 13-21, 2008.
- 2) 関根道和, 山上孝司, 鏡森定信: 富山出生コホート研究からみた小児の生活習慣と肥満. *日本小児循環器学会雑誌*, 24: 589-597, 2008.

◆ 学会報告

- 1) Lahelma E., Martikainen P., Chandola T., Head J., Marmot M., Sekine M., Nasermoaddeli A., Kagamimori S.: Socioeconomic differences in health behaviors among employees from Britain, Finland, and Japan: the contribution of psychosocial working environment. *10th International Congress of Behavioral Science*, 2008, 8, 27-28, Tokyo.
- 2) 関根道和, 山上孝司, 鏡森定信: 小児肥満7つのチェックリストの作成. *第18回日本疫学会学術総会*, 2008, 1, 25-26, 東京.
- 3) 立瀬剛志, 関根道和, 鏡森定信: 仕事の満足感に関する職種と年代の影響. *第18回日本疫学会総会*, 2008, 1, 25-26, 東京.
- 4) 新村哲夫, 海 栄, 堀井裕子, 中崎美峰子, 長瀬博文, 桑守豊美, 森田明美, 王 紅兵, 胡 莉珍, 孫 迎春, 蘇秀蘭, 常 虹, 畢 力夫, 鏡森定信: 中国内モンゴル自治区フッ素汚染地域女性における骨吸収亢進に関する調査研究(1) - 尿中フッ素濃度と骨吸収マーカーについて - . *第78回日本衛生学会総会*, 2008, 3, 28-31, 熊本.
- 5) 鏡森定信, 新村哲夫, 関根道和, 王 紅兵, 松原 勇, 立瀬剛志: 飲用カプセル体温計, ポータブル心拍・体動計による日常行動の評価. *第73回日本温泉気候物理医学会総会*, 2008, 5, 16-17, 宮城.
- 6) 王 紅兵, 烏帽子田 彰, 関根道和, 鏡森定信: 日常生活行動の心拍・血圧・深部体温・体動の連続記録からの検討. *第44回日本循環器病予防学会*, 2008, 5, 23-24, 秋田.
- 7) 関根道和, 立瀬剛志, 鏡森定信: 平成18事業年度の国立大学法人および附属病院の財務諸表分析. *第67回日本公衆衛生学会総会*, 2008, 10, 5-7, 福岡.
- 8) 立瀬剛志, 関根道和, 鏡森定信: 職務満足度とQOL(身体並びに精神健康度)の比較検討. *第67回日本公衆衛生学会総会*, 2008, 10, 5-7, 福岡.
- 9) 孫 迎春, 関根道和, 立瀬剛志, 鏡森定信: 中学生の生活習慣と肥満に関する研究 - 富山出生コホート研究 -. *第47回富山県小児保健学会*, 2008, 10, 5, 富山.
- 10) 立瀬剛志, 関根道和, 須永恭子, 鏡森定信: 習慣的生活の変化による深部体温の変化. *第73回日本民俗衛生学会総会*, 2008, 10, 26-27, 神奈川.
- 11) 胡 莉珍, 関根道和, 立瀬剛志, 鏡森定信: 職域ストレスおよび心理的健康度の喫煙継続への影響. *第73回日本民族*

衛生学会, 2008, 10, 26-27, 神奈川.

- 12) 関根道和, 孫 迎春, 立瀬剛志, 鏡森定信: 中学生の生活習慣と肥満に関する研究: 富山スタディの結果より. 北陸学校保健学会, 2008, 11, 石川.

◆ その他

- 1) 関根道和: (新聞記事)「寝ない子は太る - 富山大が長期追跡調査, 3歳時寝不足肥満の遠因に, 睡眠習慣をしっかりと」. 南日本新聞 (共同通信社配信記事), 2007, 12, 24, 12頁.
- 2) 関根道和: (新聞記事)「寝ない子は太る - 3歳の寝不足原因, 健康づくり就学前から」. 福島民報 (共同通信社配信記事), 2007, 12, 24.
- 3) 関根道和: (新聞記事)「寝ない子は太る - 富山で1万人長期追跡調査, 3歳児の睡眠不足影響, 健康づくり, 就学前から」. 山梨日日新聞 (共同通信社配信記事), 2007, 12, 25, 11頁.
- 4) 関根道和: (新聞記事)「寝不足の子は太る - 幼児期の睡眠時間影響」. 神戸新聞 (共同通信社配信記事), 2007, 12, 26, 17頁.
- 5) 関根道和: (新聞記事)「寝ない子は太る, 調査で裏づけ - 3歳から高校生1万人調査, 幼児期の睡眠習慣が肝要」. 沖縄タイムズ (共同通信社配信記事), 2007, 12, 27, 22頁.
- 6) 関根道和: (新聞記事)「寝ない子は太る? 1万人長期調査で判明, 3歳時の睡眠不足が遠因に」. 静岡新聞夕刊 (共同通信社配信記事), 2007, 12, 28, 5頁.
- 7) 関根道和: (新聞記事)「寝ない子は太る - 3歳児の習慣, 後々まで影響, 十分な睡眠継続重要」. 山形新聞 (共同通信社配信記事), 2007, 12, 28, 19頁.
- 8) 関根道和: (新聞記事)「寝ない子は太る - 1万人長期追跡調査で判明, 肥満の遠因に3歳の寝不足」. 下野新聞 (共同通信社配信記事), 2007, 12, 29.
- 9) 関根道和: (講演)「早寝・早起き・朝ごはん! これさえすれば子どもは育つ - 富山スタディから見えるもの -」. 文部科学省委託・子どもの生活リズム向上のための調査研究報告会 (糸魚川市健康増進課), 2008, 1, 20, 新潟 (糸魚川市).
- 10) 関根道和: (講演)「富山スタディからみた小児期からの生活習慣病予防」. 富山大学附属病院第1内科呼吸器検討会, 2008, 1, 9, 富山.
- 11) 関根道和: (講演)「富山スタディからみた小児期からの生活習慣病予防」南砺市福光南部小学校家庭教育講演会, 2008, 2, 16, 富山.
- 12) 関根道和: (講演)「望ましい睡眠習慣の育成と家庭の役割」. 学校公開日「親子で聴く講演会」講演, 高岡市立中田中学校, 2008, 2, 23, 富山.
- 13) 関根道和: (講演)「健康的な生活習慣づくり - 富山スタディの結果から」. 新入生入学説明会講演会, 小矢部市立石動中学校, 2008, 2, 8, 富山.
- 14) 関根道和: (講演)「健康づくりボランティアに期待するもの - 富山スタディからみた小児期からの生活習慣病予防 -」. 平成19年度健康づくり栄養教室およびヘルスボランティア養成講座修了式特別講演会 (高岡市健康増進課), 2008, 2, 21, 富山.
- 15) 関根道和: (新聞記事)「寝ない子は太る - 富山大大学院1万人を長期追跡調査, 3歳時の睡眠が影響, 9時間未満だと肥満1.6倍」. 熊本日日新聞 (共同通信社配信記事), 2008, 1, 5, 11頁.
- 16) 関根道和: (新聞記事)「寝ない子は太ります - 富山大1万人長期追跡調査で判明, 大切な3歳の睡眠習慣, 9時間未満肥満率1.6倍に」. 信濃毎日新聞 (共同通信社配信記事), 2008, 1, 7, 6頁.
- 17) 関根道和: (新聞記事)「寝ない子は太る - 富山1万人を長期追跡調査, 3歳時の睡眠時間が影響」. 神奈川新聞 (共同通信社配信記事), 2008, 1, 7, 11頁.
- 18) 関根道和: (新聞記事)「寝る子は育つ, 寝ない子は太る - 1万人を長期追跡調査, 3歳時の睡眠が遠因」. 大分合同新聞 (共同通信社配信記事), 2008, 1, 5, 22頁.
- 19) 関根道和: (新聞記事)「子どもの肥満 - 幼児期の睡眠不足が起因, 総合的な対策も不可欠」. 上毛新聞 (共同通信社配信記事), 2008, 1, 7, 27頁.
- 20) 関根道和: (新聞記事)「寝ない子は太る - 富山大1万人長期追跡調査, 3歳時の睡眠健康生活の礎」. 中国新聞 (共同通信社配信記事), 2008, 1, 9, 10頁.
- 21) 関根道和: (新聞記事)「肥満をもたらす幼児期の寝不足 - 富山大大学院准教授ら追跡調査」. 新潟日報 (共同通信社配信記事), 2008, 1, 7, 6頁.

- 22) 関根道和：(新聞記事)「寝ない子は太る - 肥満, 3歳時の寝不足が遠因, 富山大1万人追跡調査で判明」. 岐阜新聞 (共同通信社配信記事), 2008, 1, 5, 13頁.
- 23) 関根道和：(新聞記事)「寝ない子は太る - 3歳の寝不足肥満への遠因」. 琉球新報夕刊 (共同通信社配信記事), 2008, 1, 8, 6頁.
- 24) 関根道和：(新聞記事)「寝ない子は太る - 富山大1万人追跡調査」. 佐賀新聞 (共同通信社配信記事), 2008, 1, 8, 12頁.
- 25) 関根道和：(新聞記事)「肥満原因に3歳時の寝不足 - 富山大学院関根准教授ら1万人長期追跡調査で判明, 寝ない子は太る, 健康づくり就学前から必要」. 中部経済新聞 (共同通信社配信記事), 2008, 1, 18, 18頁.
- 26) 関根道和：(新聞記事)『寝ない子は太る』判明 - 3歳時に9時間未満, 中1で肥満率1.6倍, 富山大1万人を長期追跡」. 高知新聞 (共同通信社配信記事), 2008, 1, 18.
- 27) 関根道和：(新聞記事)『寝ない子は太る』 - 3歳時の寝不足遠因, 適切な食生活と運動を, 1万人長期追跡調査』. 長崎新聞 (共同通信社配信記事), 2008, 1, 28, 21頁.
- 28) 関根道和：(新聞記事)「睡眠重要:寝ない子は太る - 3歳の寝不足肥満の遠因, 1万人を長期追跡調査」. 福島民友 (共同通信社配信記事), 2008, 1, 25, 9頁.
- 29) 関根道和：(新聞記事)「3つ子の魂百まで?!寝ない子は太る - 3歳児の睡眠不足影響」. 山陰中央新報 (共同通信社配信記事), 2008, 1, 17, 8頁.
- 30) 関根道和：(新聞記事)「寝ない子は太る - 肥満遠因に3歳の寝不足」. 埼玉新聞 (共同通信社配信記事) 2008, 1, 16, 7頁.
- 31) 関根道和：(新聞記事)「寝ない子は太る - 睡眠重要, 1万人長期追跡調査で判明, 成人後の高血圧や糖尿病」. 四国新聞 (共同通信社配信記事), 2008, 1, 9, 11頁.
- 32) 関根道和：(新聞記事)「寝る子は育つ, 寝ない子太る - 富山大学院准教授1万人追跡調査, 寝不足が肥満の要因に, 幼児期の習慣確立重要」. 愛媛新聞, 2008, 1, 15, 20頁.
- 33) 関根道和：(新聞記事)「寝ない子は太る - 富山で1万人長期追跡調査, 3歳児の睡眠不足遠因」. 山陽新聞 (共同通信社配信記事), 2008, 1, 12, 14頁.
- 34) Michikazu Sekine : (news article) Researchers link lack of sleep and obesity in kids. The Japan Times. Page 2, January 22, 2008 (Kyodo news) The web new is also available at: <http://search.japantimes.co.jp/cgi-bin/nn20080122a3.html>.
- 35) Michikazu Sekine: (news on the web) Lack of sleep can lead to children becoming obese KYODO NEWS (available at: <http://home.kyodo.co.jp/modules/fstStory/index.php?storyid=358514>).
- 36) 関根道和：(講演)「睡眠からみた健康づくり - 職域ストレス・メンタルヘルスマネジメント -」. 富山地方法務局 (高岡支局) メンタルヘルス研修会講演, 2008, 2, 19, 富山.
- 37) 関根道和：(講演)「睡眠からみた健康づくり - 職域ストレス・メンタルヘルスマネジメント -」. 富山地方法務局 (本局) メンタルヘルス研修会講演, 2008, 2, 22, 富山.
- 38) 関根道和：(講演)「睡眠からみた健康づくり - 職域ストレス・メンタルヘルスマネジメント -」. 富山地方法務局 (魚津支局) メンタルヘルス研修会講演, 2008, 2, 29, 富山.
- 39) 関根道和：(講演)「睡眠からみた健康づくり - 職域ストレス・メンタルヘルスマネジメント -」. 富山地方法務局 (砺波支局) メンタルヘルス研修会講演, 2008, 3, 11, 富山.
- 40) 関根道和：(講演)「富山スタディからみた小児期からの生活習慣病予防」. 富山県砺波厚生センター食育研修会, 2008, 3, 富山.
- 41) 関根道和：(講演)「富山スタディからみた子どもの睡眠習慣と健康 - 寝ぬ子は太る -」. 子どもの早起きをすすめる会6周年記念シンポジウム「夜型社会から抜け出すために」, 2008, 6, 1, 東京.
- 42) 関根道和：(シンポジスト)「夜型社会から抜け出すために」. 子どもの早起きをすすめる会6周年記念シンポジウム「夜型社会から抜け出すために」, 2008, 6, 1, 東京.
- 43) 関根道和：(講演)「富山スタディからみた小児期からの生活習慣病予防」若狭子ども元気フォーラム - こどもの健やかな成長を願って - . 杉田玄白記念・公立小浜病院講演会, 2008, 7, 20, 福井.
- 44) 関根道和：(講演)「小児期からの生活習慣病予防における地域社会と家庭の役割」. 平成20年度文部科学省指定子どもの健康を育む総合食育推進事業 (地域食育推進事業) 七尾市立天神山小学校公開食育研究会・講演会 (七尾市教育委員会子ども教育課), 2008, 10, 29, 石川.
- 45) 関根道和：(寄稿)「富山スタディからみた小児期からの生活習慣病予防」. 医報とやま (富山県医師会発行), 1449 : 12-13, 2000.

- 46) 関根道和：(寄稿)「富山スタディからみた小児期からの総合的な健康づくり」. 佐賀小児保健研究 9 号 (佐賀県小児保健協会発行), 2008.
- 47) 関根道和：(雑誌記事)「寝ぬ子は太る－縦断調査で睡眠と肥満の関係は」. 遊育(U-iku), 2008 年 6 月 23 日号, 11 頁.
- 48) 関根道和：(雑誌記事)「SOS 夜型生活から子どもたちを救え」. COMO, 10: 191-199, 2008, 主婦の友社.
- 49) 関根道和：(機関誌記事)「3 歳児健診時の睡眠時間と中学 1 年生時の肥満との関係」. (株) 東農園『紀州 5 代 元気百年 - メタボをこえろ』, 6: 2008.
- 50) 関根道和：(講演)「中学生の睡眠習慣と健康」. 富山県中部厚生センター青少年健康づくり支援事業講演会, 立山町立雄山中学校 (富山県中部厚生センター), 2008, 7, 1, 富山.
- 51) 関根道和：(講演)「中学生の睡眠習慣と健康」. 石川県教育委員会いしかわっ子体力アップ推進事業研究指定校講演会, 石川県鹿島郡中能登町立鹿西中学校 (石川県教育委員会・中能登町立鹿西中学校 P T A 研修委員会), 2008, 7, 10, 石川.
- 52) 関根道和：(寄稿)「富山スタディからみた子どもの睡眠習慣と健康 - 寝ぬ子は太る」. 子どもの早起きをすすめる会ホームページ, 学問の扉 (<http://www.hayaoki.jp/gakumon/nenuko.pdf>).
- 53) 関根道和：(記事) 子どもの早起きをすすめる会 第 6 周年記念シンポジウム「夜型社会から抜け出すために」. 東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課, 子どもの生活習慣確立東京都協議会 (<http://www.kodomo-seikatsusyukan-tokyo.jp/example.html>).
- 54) 関根道和：(講演)「なぜ, 早寝, 早起き, 朝ごはんが健康によいのか」. 平成 20 年度かほく市市民憲章推進事業「早寝, 早起き, 朝ごはん」講演会, かほく市七塚健康福祉センター (かほく市各種女性団体連絡協議会・石川県かほく市市民憲章推進本部・かほく市教育委員会生涯学習課), 2008, 11, 29, 石川.
- 55) Sekine M: Socioeconomic inequalities of physical and mental functioning of British, Finnish and Japanese civil servants: Role of Job Demand, Control, and Work Hours. International Joint Meeting in Tokyo 2008, 8, 27, Tokyo.
- 56) 関根道和：(シンポジスト)「「食べる」・「遊ぶ」・「寝る」と生活習慣病予防」. 子供の体力向上推進フォーラム in 滑川. シンポジウム「よく食べ, よく遊び, よく眠って, 元気っ子」, 滑川市民会館大ホール (富山県教育委員会), 2008, 11, 15, 富山.
- 57) 関根道和：(研究結果の紹介) おもいきりイイ!! テレビ 健康常識クイズ. 日本テレビ, 2008 年 10 月 22 日.
- 58) 関根道和：(講演)「生活習慣病予防と地域社会や課程の役割」. 七尾市立御祓中学校, 2008, 12, 16, 石川.
- 59) 立瀬剛志：(講義)「バイオサイエンスからライフケアへ - ライフケアサイエンスにみる産学連携」. 北陸先端科学技術大学院大学マテリアル科学研究科, 2008, 1, 12, 石川.
- 60) 立瀬剛志：(講演)「Health tourism in TOYAMA ライフメディケーション」. 新富観光株式会社, 2008, 1, 9, 富山.
- 61) 立瀬剛志：(講演)「ストレス社会とメンタルヘルス」. NPO みどりの風, 2008, 4, 20, 富山.
- 62) 立瀬剛志：(講演)「ストレス社会とメンタルヘルス」. インテックシステム研究所, 2008, 6, 26, 富山.
- 63) 立瀬剛志：(講演)「富山らしさを考える会」. 富山大学地域連携推進機構, 2008, 7, 22, 富山.
- 64) 立瀬剛志：(講演)「エンパワメントしよう」. 2008E-フェスタ, 2008, 10, 7, 富山.
- 65) 立瀬剛志：(講演)「健康習慣としての睡眠」. 富山大学保健管理センターセミナー, 2008, 11, 18, 富山.
- 66) 胡 莉珍, 鏡森定信, 新村哲夫, 碓井靖夫: 人工炭酸泉の全身浴による血圧・眼圧への影響. 第 13 回人工炭酸泉研究会, 2008, 12, 12, 東京.
- 67) 新村哲夫, 胡 莉珍, 三井 博, 鏡森定信: 海洋深層水を用いた温冷交代手足浴による皮膚温度および血流量の変化. 富山県衛生研究所年報, 31: 204-208, 2008.